

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第1回 茨木市指定管理者候補者選定委員会
開催日時	令和6年7月8日（月） （午前 <u>午後</u> ） 3時00分 開会 （午前 <u>午後</u> ） 5時00分 閉会
開催場所	-（WEB会議）
委員長	山下 克之 （追手門学院大学 経営学部 教授）
出席者	【委員】 山下 克之 委員長 （追手門学院大学 経営学部 教授） 坂西 明子 副委員長 （立命館大学 政策科学部 教授） 井元 真澄 委員 （梅花女子大学 心理こども学部 教授） 辰本 頼弘 委員 （追手門学院大学 社会学部 教授） 田村 和宏 委員 （立命館大学 産業社会学部 教授） 藤野 一夫 委員 （芸術文化観光専門職大学 副学長 芸術文化・観光学部 教授） 【委員は五十音順】
欠席者	なし
事務局職員	【事務局】 足立企画財政部長、梶財産活用課長、坂元財産活用課係長、岡田財産活用課職員 【説明員】 肥塚福祉部副理事兼地域福祉課長、山本地域福祉課係長、高橋地域福祉課主任、奥野地域福祉課職員 井上障害福祉課長、佐原障害福祉課長代理兼係長
開催形態	非公開

議題(案件)	(1) 委員長・副委員長の選出について (2) 諮問について (3) 会議録の公開等について (4) 高齢者活動支援センター シニアプラザいばらきの選定方法及び評価報告について (5) 各多世代交流センター（５施設）の選定方法及び評価報告について (6) 令和５年度 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価報告について（障害生活支援センター ともしび園、障害福祉センター ハートフル、障害就労支援センター かしの木園） 【施設は審議順】
配布資料	(1) 諮問書 (2) 令和６年度スケジュール表 (3) 高齢者活動支援センター（シニアプラザいばらき）選定関連資料 (4) 各多世代交流センター（５施設）選定関連資料 (5) 令和５年度公の施設評価シート

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	ただ今から、令和6年度 第1回 茨木市指定管理者候補者選定委員会を開催させていただきます。 本日は、大変、お忙しい中、茨木市指定管理者候補者選定委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 委員長が決まるまでの間、司会進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。 また、本日は、WEB会議となっておりますため、ご発言される際は、一度挙手いただきまして、発言の許可を求めていますようお願いいたします。開会にあたりまして、企画財政部長の足立からご挨拶させていただきます。
足立部長	企画財政部長の足立でございます。開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。 本日はご多忙のところ、本市指定管理者候補者選定委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 本市におきましては、民間事業者等のノウハウを活用いたしまして「市民サービスの向上」や「経費の削減」につなげるため、現在、69の公共施設に指定管理者制度を導入しております。 今年度の委員会のスケジュールなどにつきましては、後ほど事務局からご説明いたしますが、委員の皆様には、指定管理者候補者の公正かつ適正な選定と、管理運営に係る評価報告についてのご審議を賜りたいと思っております。また、今年度の2月に発生しました本市障害福祉施設における利用者事故を受けまして、選定やモニタリングの手法等の改善ができればと考えておりますので、委員の皆様には、ご協力いただきますようお願いいたします。 簡単ではありますが、私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。
事務局	それでは、はじめに本日の出席委員の状況について、ご報告いたします。 委員総数6人の内、出席の委員は6人でございます。委員会規則第6条第3項により、委員の半数以上が出席されておりますので、会議は成立いたしております。 次に、議題1の「委員長、副委員長の選出」を行います。 当委員会規則第5条第1項の規定において、本委員会に委員長及び副委員長を置き、選出は委員の互選によることとしております。 まず、委員長の選出をお願いしたく存じますが、どなたかご意見ございますでしょうか。

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
井元委員	大変僭越ではありますが、委員長には本委員会の経験が長く、また昨年度委員長をされておりました山下委員が適任かと存じます。
事務局	ただ今、委員長は山下委員にとご推薦いただきましたが、委員の皆様いかがでしょうか。山下委員よろしいでしょうか。
委員全員	(異議なし) (山下委員 了承)
事務局	ありがとうございます。 ご異議なしということで、委員長は山下委員に決定いたします。 続きまして、副委員長の選出をお願いしたく存じます。提案でございますが、副委員長は委員長の補佐をしていただく役割でございますので、選出につきましては山下委員長にご一任したく存じますが、皆様いかがでしょうか。
委員全員	(異議なし)
事務局	では山下委員長、よろしく願いいたします。
山下委員長	提案でございますが、副委員長は坂西委員を推薦したく思いますが、いかがでしょうか。
事務局	ただいま、山下委員長から、副委員長は坂西委員にと推薦をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。坂西委員よろしいでしょうか。
委員全員	(異議なし) (坂西委員 了承)
事務局	ありがとうございます。 それでは、副委員長は坂西委員に決定いたします。
山下委員長	それでは、これからの議事は、委員会規則第6条第1項の規定により、議長である山下委員長に進めていただきたく存じます。よろしく願いいたします。 それでは、会議次第に沿って議事を進めます。 なお、会議は2時間以内を予定しておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山下委員長	まず、議題2の「諮問について」及び、議題3の「会議録の公開等について」、事務局から一括して説明を求めます。
事務局	それでは、まず議題2の「諮問について」ご説明いたします。 内容を画面共有いたします。本委員会開催にあたっては、委員会規則第2条により、福岡市長から、諮問書を受けております。今年度は、諮問事項の「(1)から(5)までの計39施設の選定」、「(6) 令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価」、「(7) その他選定に関する事項」について、諮問いたしております。 併せて、今年度の委員会のスケジュールをご説明させていただきます。お手元の「令和6年度スケジュール表」をご覧ください。 ＜今年度の委員会のスケジュールについて説明＞
事務局	なお、9月以降に予定しておりますプレゼンテーションに関しまして、公募対象予定施設数が多くなっておりますので、皆様には委員会開催までに、プレゼンテーションの動画をご覧ください、委員会では各事業者の質疑応答の時間に充てたいと考えております。多くの施設の選定についてご審議いただくことになり、ご多忙のところ申し訳ありませんが、ご協力いただきますようお願いいたします。 続きまして、議題3の「会議録の公開等について」ご説明いたします。 当委員会の会議は、委員会規則第6条第4項により、非公開としております。また、会議録につきましては、具体的な法人の技術情報や信用情報に関わる部分を除き、要点筆記による公開とし、発言者名につきましては昨年度に引き続き公表してまいりたいと考えております。
山下委員長	ただ今、事務局から「諮問」及び「会議録の公開」等の考え方について説明がありましたが、ご異議ございませんか。
委員全員	(異議なし)
山下委員長	それでは、会議録については要点筆記とし、発言者名とともに公表することとします。
山下委員長	本日の案件は、次第にありますとおり ・ 高齢者活動支援センター シニアプラザいばらきの評価報告及び選定方法について ・ 各多世代交流センター（全5施設）の評価報告及び選定方法について ・ 令和5年度指定管理者制度導入施設における評価報告についてです。

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山下委員長	それでは、議題４の「高齢者活動支援センター シニアプラザいばらきの評価報告及び選定方法について」を審議いたします。 まず、当該施設の概要及び令和５年度評価報告、募集要項等の選定に係る書類等について、施設所管課からの説明を求めます。
地域福祉課	<次の項目について、順次説明> (１) 施設の概要 (２) 令和５年度 評価報告 (３) 指定管理を導入している理由 (４) 選定に係る書類について（プレゼンテーションを実施する旨も説明）
山下委員長	ただ今の説明について、何かご質問等ございますでしょうか。
藤野委員	「評価シート p 10」 認知症カフェは、指定管理業務として実施を求めているものでしょうか。
地域福祉課	当事業は、指定管理者の自主事業として実施しております。
井元委員	「評価シート p 9」 点検項目「業務仕様書について」の市の所見において、修繕改修とありますが、どのような内容でしょうか。
地域福祉課	利用者ニーズに沿った指定管理者による発意により、清掃後に滑りやすくなる床面に滑り止めを設置したものです。
辰本委員	「評価シート p 11」 全体評価の「利用状況について」は、「Ｓ評価」ですが、どのような講座やイベントを実施したことによるものでしょうか。
地域福祉課	オータムフェアやホテル鑑賞などの施設全体を使った事業を実施し、盛況でありましたので、「Ｓ評価」としました。
山下委員長	他にないようでしたら、高齢者活動支援センター シニアプラザいばらきについては、公募により、プレゼンテーションを経て、候補者を選定することを決定したいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。
委員全員	(異議なし)
山下委員長	それでは、この内容で決定いたします。

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山下委員長	つづきまして、議題５の「各多世代交流センター（全５施設）の評価報告及び選定方法について」を審議いたします。 まず、当該施設の概要及び令和５年度評価報告、募集要項等の選定に係る書類等について、施設所管課からの説明を求めます。
地域福祉課	<次の項目について、順次説明> (1) 施設の概要 (2) 令和５年度 評価報告 (3) 指定管理を導入している理由 (4) 選定に係る書類について（プレゼンテーションを実施する旨も説明）
山下委員長	ただ今の説明について、何かご質問等ございますでしょうか。
藤野委員	今回の指定管理料は、昨今の人件費や物価等の上昇を反映させているのでしょうか。また、応募事業者がない等の事態は発生しないのでしょうか。
地域福祉課	指定管理料につきましては、令和５年度の収支実績をもとに、昨今の人件費や物価等の上昇分を加味して、積算しておりますので、問題ないと考えております。
田村委員	指定管理料における人件費の積算にあたり、正規職員かどうかや経験年数などの配置人員の基準を設けたうえで積算しているのでしょうか。
地域福祉課	施設長の人件費は、令和４年の介護従事者処遇状況等調査の平均給与額をもとに算出するなど、基準を設けて人件費を積算しております。
山下委員長	「評価シート p 54、66」 一部施設では、全体の収支が０円となっておりますが、どのような理由でしょうか。
地域福祉課	収支状況の全体収支につきましては、指定管理者に確認し、後日回答いたします。 <修正した評価シートは「施設管理運営についての評価」のページにて公開>
藤野委員	当施設では、指定管理料の余剰金が発生した場合は、どのように取り扱っているのでしょうか。
地域福祉課	市の求める業務の水準を満たしつつ、指定管理者の経営努力により発生した余剰金は、指定管理者のインセンティブとして取り扱っております。

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山下委員長	他にないようでしたら、各多世代交流センター（全5施設）については、公募により、プレゼンテーションを経て、候補者を選定することを決定したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。
委員全員	（異議なし）
山下委員長	それでは、この内容で決定いたします。 次の審議のため施設所管課に入れ替わってまいります。
山下委員長	それでは、「 各障害福祉施設（3施設） 」の評価報告について」を審議しますので、施設所管課から説明を求めます。
障害福祉課	＜各障害福祉施設（3施設）の評価報告について説明＞
山下委員長	ただ今の説明について、何かご質問等ございますでしょうか。
山下委員長	「評価シート p 78」 市が指摘する研修の実施に係る費用について、指定管理者の支出項目のうち、どちらに該当しているのでしょうか。 「評価シート p 83～89」 また、指定管理者の自己評価において、研修体制の確立や管理体制の再構築について言及がなく、事故発生に対する認識が不足しているように見受けられますので、評価内容の再検討が必要かと思います。
障害福祉課	実施が必要と考えられる研修については、人件費に含まれていると認識しております。 また、指定管理者の自己評価の記載につきましては、委員会からの指摘内容について、指定管理者へお伝えいたします。 ＜修正した評価シートは「施設管理運営についての評価」のページにて公開＞
藤野委員	ともしび園では、指定管理者がコンプライアンスを規定しているのでしょうか。 また、市では、事故の対応や再発防止に向けて、どのように進めているのでしょうか。
障害福祉課	指定管理者が内部で規定するコンプライアンスにつきましては、令和4年度における指定管理者候補者の募集時に、指定管理者から事故発生時の対応や虐待防止のための方策等について、提案を受けており、虐待の防止等に係る会議につきましても実施されていることを確認しております。 次に、今回の事件の対応につきましては、障害福祉課で「指定管理にお

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
障害福祉課	ける仕様の遵守について」を、福祉指導監査課で「生活介護事業における国の基準の遵守について」を、福祉総合相談課で「障害者虐待防止法の遵守について」を調査しており、各部署で相互に連携しつつ、対応しております。 また、事故の再発防止に向けた指定管理での対応につきましては、今年度から仕様書の水準に基づき、「評価シート p 85」の「障害者総合支援法の遵守について」の項目を追加し、確認を行っております。
藤野委員	市の対応について、調査主体が分かれているとのことですが、全体を総括した部署等があるのでしょうか。
障害福祉課	調査主体の全体を統括する部署はございませんが、法務部門も含め、関係課で連携しながら、対応しております。
田村委員	障害福祉施設に関しては、要求水準書等で詳細な人員や研修体制に関する基準を設けることで、従事される職員の質を確保しておくことが重要であると感じます。 また、定期報告書のチェック方法の改善やモニタリングの期間や方法等についても工夫が必要と感じます。
障害福祉課	いただいたご意見をもとに、検討を進めてまいります。
井元委員	「評価シート p 90」 生活介護事業において、他の障害福祉施設と比較し、ハートフルの稼働率や目標値が低く設定されているのはどういった理由でしょうか。
障害福祉課	ハートフル以外の施設では週 5 日での利用が多いのに対して、ハートフルにおいては、月曜日を休所日としており、主な利用となる日中での利用が少ないという点から、他の施設と稼働率や目標値の設定に差が出ております。
坂西 副委員長	「評価シート p 103」 かしの木園の自主事業の収支が悪化した理由について教えてください。 「評価シート p 102」 また、就労移行支援事業の稼働率における目標値と実績値の乖離の理由について教えてください。
障害福祉課	自主事業の収支についてです。まず、自主事業の多くは、収益が見込めない事業であること、また、当該年度におきましては、準備に費用を要し、本格的な実施に至らず、事業実施に係る補助金を受け取れなかったことが収支悪化の要因の一つであると認識しております。

議事の経過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
障害福祉課	次に、就労移行支援事業の稼働率についてです。就労移行支援事業は、原則２年間で利用者が入れ替わる事業であり、利用者が就職し、卒業されていくにもかかわらず、令和５年度においては、就労継続支援Ｂ型の廃止に向けた利用者への支援や調整に注力しており、新規利用者の獲得に向けた活動が十分に実施できなかったことから、稼働率の目標値と実績値に乖離が出ていると考えております。
坂西 副委員長	今後において、就労移行支援事業の利用促進に向けた取組等について、お考えがありましたら教えてください。
障害福祉課	集客に向けた周知や市内関係事業者へ就労支援の周知の実施、また施設の修繕等を実施することで、新規利用者にとって、より魅力的な環境づくりに努めていくと指定管理者から聞いております。
山下委員長	他にないようでしたら、「 各障害福祉施設（３施設） 」の評価報告について」の審議を終了させていただきます。
山下委員長	以上で、本日の案件は終了いたしました。事務局から何か連絡はありますか。
事務局	次回は、７月２３日（火）午前１０時００分から、市民体育館及び各市民プール（全４施設）、駐車場（全２８施設）について、令和５年度のモニタリング報告と併せて、選定方法をご審議いただく予定です。また、その他の令和５年度 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価報告についても、ご審議いただく予定ですので、よろしくお願いいたします。
山下委員長	それでは、これで令和６年度 第１回 茨木市指定管理者候補者選定委員会を終了いたします。